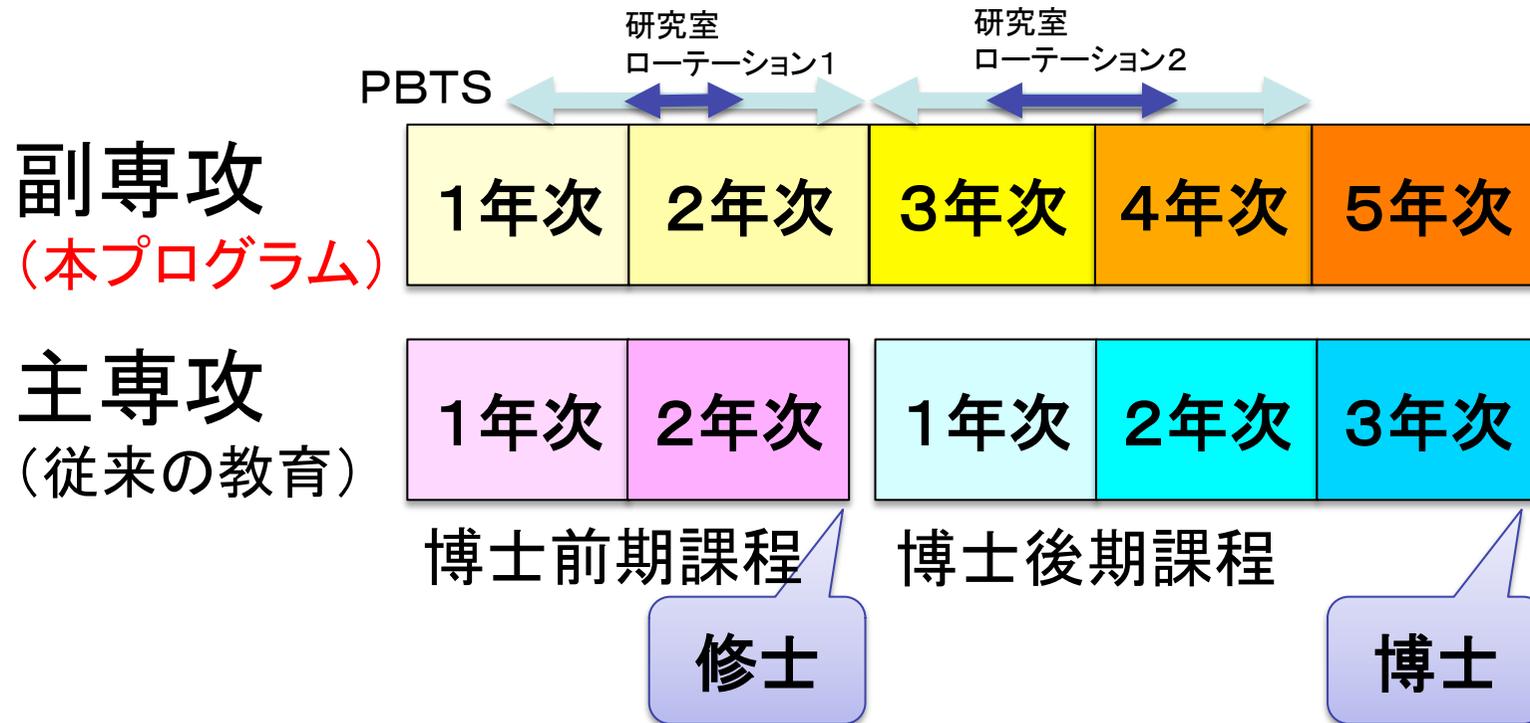


# カリキュラム内容と選抜について

平成27年7月21日

## ■ カリキュラム

### グローバル理工学副専攻



- ・参加学生は主専攻に属しながら副専攻科目を履修する
- ・5年一貫コース ・1学年～15人
- ・英語だけで履修可能(留学生への対応)

# 履修単位数

本専攻(40単位)

- 博士前期課程:30単位
- 博士後期課程:10単位

グローバル理工学副専攻(37単位)

- イノベーション創成基盤科目:10単位
- グローバルリーダー育成に関する科目:10単位
- PBTS(Project Based Team Study):14単位
- グローバル研修:3単位

副専攻の単位のうち10単位は本専攻の単位として認められる。

注:専修教員免許の習得希望者については、博士後期課程までかかる可能性がある。

# イノベーション創成基盤科目

- Essential Physics for Global Leaders I・II
- Essential Mathematics for Global Leaders I・II
- Essential Computer Science for Global Leaders I・II
- Essential Chemistry for Global Leaders I・II
- Essential Bioinformatics for Global Leaders I・II
- Essential Engineering and Technology for Global Leaders I・II

各科目2単位

このうち、

- Essential Physics for Global Leaders I,
- Essential Mathematics for Global Leaders I,
- Essential Computer Science for Global Leaders I は必修。
- それ以外の科目から2科目以上を選択必修。(計10単位)

# グローバルリーダー育成に関する科目

## (1) 英語教育

「英語アカデミック・プレゼンテーション」「サイエンス・リーディング」「サイエンス・ライティング(基礎)」「英語アカデミック・ライティング」「プレゼンテーション法研究」

## (2) キャリア教育

「キャリア開発特論(基礎編)(応用編)(ロールモデル編)(実践編)」

## (3) リーダー教育

「グローバル女性リーダー特論(基礎編)(応用編)(ロールモデル編)(実践編)」  
「プロジェクトマネジメント特論」「アウトリーチ実践」

## (4) 博士課程LA

「Global Philosophy」「Global Ethics」「Global History」「Global Culture and Arts」

## (5) IT技術関連科目

「IT活用法Ⅰ・Ⅱ」

(1)から4単位、(2)～(5)から計6単位を選択必修。

# PBTS (Project Based Team Study)

- プログラムに採用された院生2名もしくは3名が、主体的に他の院生の参加を募って総勢数名程度のチームを作り、自主的にプロジェクト研究を行う。
- 各プロジェクトチームでは、学生はそれぞれの異質な分野を基盤としながらも、分野を超えた総合的な課題を設定し、協働して解決を目指す。
- 各自スタディポートフォリオを作成して、半年ごとにそれに依拠したperiodic Qualifying Examination (pQE)を受け、毎年「年次報告書」を提出する。
- 最終的な成果は、学位課程修了前にチームの協働研究として英文の副論文としてまとめる。
- 実施期間は1年次後半から4年次にかけて3年半。
- 各プロジェクトチームの学生は、まず、学外者2名以上を含む5名以上の教員から構成される指導教員団を選び、この指導教員団の助言を受けながらも自主的に研究課題の設定・解決を行う。

## 研究室ローテーション(グローバル研修)

- 国内外の学外の産学官機関に長期間滞在して研究活動を行う。
- 学外機関で実施した内容はローテーション終了後に報告を行い、有効と判断された場合には通算3ヶ月の滞在目安として1単位を与える。
- 滞在期間は、博士前期課程で3ヶ月以上半年以内、博士後期課程で半年以上1年以内。

# 成績評価(QE)

## initial-QE

本プログラム所属学生の選抜試験の評価

## middle-QE

物理・数学・情報各分野の基礎的問題に対する筆記試験。各分野において出題される100問程度を予め公開し、そのうちから各分野5問程度を出題。博士後期課程における本学位プログラムに継続参加するための要件。

## periodic-QE

本プログラム所属学生に対し、6ヶ月に一度ヒアリングを実施。研究の遂行状況のほか、求められている知識に関して、国際基準でのQEにパスできるレベルに到達しているか審査。

## final-QE

本プログラム修了時に実施。PBTSの成果をまとめた博士副論文とそのプレゼンテーションおよび口頭試問による最終審査。

# 今回(10月期)の選抜について

申請資格:

本学大学院博士前期課程ライフサイエンス専攻または理学専攻で、平成27年10月時点で大学院博士前期課程1年に在籍する者(予定のものを含む)

採用人数:若干名

※奨励金受給者は各入学年度15名程度

※本副専攻プログラムを履修するには、博士後期課程への進学が必須

次回は来年2月下旬の予定  
対象は来年4月にM1の学生  
詳細は決定後、HPに掲載予定

# 申請手続き

選抜プロセス	期日	時間	場所
申請期間	平成27年8月17日（月）～ 8月26日（水）	—	—
選抜試験(面接、プレゼンテーションを含む)	平成27年8月31日（月）、9月1日(火)	9:00～19:00 のうち30分以内 (詳細別途連絡)	お茶の水女子大学
合格発表	平成27年9月4日(金)	12:00（予定）	ホームページ

## 申請書類:

- 履歴書
- 申請理由書
- PBTS提案書
- 評価書(指導教員等)
- 成績証明書
- TOEIC 公式認定証又はTOEFL 公式スコア票の写し( 提出は任意 )
- その他

## 申請方法:

- 郵送または持参(詳細は学生選抜要項を参照)

## 選考

- 履歴書
- 申請理由書
- PBTS提案書
- 評価書
- 成績証明書
- 選抜試験

## 選抜試験

- 面接およびPBTSの提案内容に関するプレゼンテーション(10分程度)
- 期日: 8月31日、または、9月1日

## 合格発表: 9月4日

- 本プログラムのホームページ( <http://www.cf.ocha.ac.jp/leading/> )  
に掲載予定

## 奨励金制度について:

- 博士前期課程: 月額17万円(予定)
  - 博士後期課程: 月額20万円(予定)
- (平成31年度まで年度毎の更新の予定)

## 受給条件:

### 成績優秀者

(その他、日本学術振興会特別研究員でないこと、日本学生支援機構等の奨学金を受給していないことなど、詳細は「国立大学法人お茶の水女子大学博士課程教育リーディングプログラム奨励金要項」を参照)

## 問い合わせ先:

お茶の水女子大学 リーディング大学院推進センター

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 TEL & FAX: 03-5978-5775

E-mail: [leading-ocha@cc.ocha.ac.jp](mailto:leading-ocha@cc.ocha.ac.jp)

URL: <http://www.cf.ocha.ac.jp/leading/> (このサイトに学生選抜要項を掲載予定)